

南の風

—第7号—

朝晩の冷え込みが一段と強まり、冬の訪れを感じる季節になりました。こども医療センター前のイチヨウの木も色づき始めています。気づけば、今年も残すところあと一か月です。寒さに負けず、温かい気持ちで年の締めくくりを迎えたいですね。今月号では、学習発表会の様子をお届けします。

小学部学習発表会

10月17日(金)に、小学部の授業参観を兼ねて、学習発表会を行いました。子どもたちは、これまでの学習の成果や日ごろの頑張っている様子を披露しました。

1組

ダンス「ライラック」と手話歌「虹」を発表しました。

練習は、体育や総合、生活の時間に行いました。難しいポイントもありましたが、繰り返し練習をして振り付けを覚ええました。

本番では、5・6年生が司会や言葉、プラカードを担当し、下級生をしっかりとリードしてくれました。腕につけたカラフルなバンダナが、ダンスや手話の動きとともに揺れ、とてもきれいでした。一人ひとりが真剣な表情で取り組み、感動的な発表になりました。



2組

日ごろの生活を紹介する動画を上映しました。

学習の合間に少しずつ声を録音し、協力しながら動画を完成させました。子どもたち自身の声で、病棟や学習室を紹介する動画は、温かみのある素敵な仕上がりでした。

また、子どもたちが描いた校長先生・副校長先生・教頭先生の絵がそっくりで、会場から思わず「すごい!」という声が上がっていました。動画を通して、それぞれの場所で頑張る仲間の姿を感じることができました。



学習発表会の感想を2名の児童にインタビューしました!

練習は大変だったけれど、練習の成果を発揮できて良かったです。

司会は、噛んでしまわないか緊張したけれど、噛まずにできて良かったです。またやりたいです。

(6年)

ダンスや手話を覚えるのが大変だったけれど、覚えられた時は達成感がありました。司会で緊張したけれど、友達「はい!」という相づちがおもしろくて元気が出ました。

(5年)

中学部:サイリウムダンス

中学部は「倍倍 FIGHT!」という曲を使ってサイリウムダンスに挑戦しました。サイリウムダンスは暗所でサイリウムと呼ばれる光る棒（お祭りなどで見かける、折ると光る棒の大きい版）を持って踊るパフォーマンスです（ヲタ芸というイメージしやすいでしょうか）。素早くサイリウムを振ることで綺麗な光の動きを楽しむことができます。かなりテンポの速い曲でしたが、部分ごとにじっくりと練習して完成させることができました。最後は学部の先生や校長先生の前で発表することができました。

[サイリウムダンスのメリット]

- ・部屋を暗くするので恥ずかしさが減少。・座りながらもパフォーマンス可能。
- ・多少のミスは気にならない(サイリウムの美しさが勝ちます)。



・～クイズ南乃風～・

病院の入り口付近に、子どもたちに人気のお散歩スポット「亀池」があります

Q.この亀池には、何匹のカメがいるでしょうか。



A. 3匹 B. 5匹 C. 6匹 D. 8匹 E. 10匹

ぜひ天気の良い日に数えに行ってみてください。ゆったり泳ぐカメの姿に心がほっと癒されますよ。

・～正解は12月号にて！！～・

★10月号の答えは、[3.アニー]でした。

アニーは、先代のベイリーの思いを引き継ぎ、活動しているゴールデン・レトリバーの女の子です。特別な訓練を受けて、治療や検査に向かう子どもたちの不安をやわらげ、笑顔を届けてくれています。病院の中でアニーに会えたら、きっとラッキーな1日になりますね。



横浜南支援学校ホームページでは南の風のカラー版・過去号などを見ることができます！

URL (<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>)

スマートフォンやタブレット端末の方は二次元コードからもアクセス可能です→

